

総合計画の3つのテーマと6本の柱

力を入れて取り組みます！
～3つのテーマ～

地球規模の環境問題や少子化・高齢化の進行、人口の減少など、社会的な課題がニュースなどでしばしば報道されているのをご覧になっている方もいるのではないのでしょうか？
総合計画では、こういった課題を乗り越え「明るい未来の多摩市」を実現するための取り組みを記載しています。

環境と共に生きる



みんなが、環境問題を自分事として捉え、身の回りのことに取り組んでいくことで、環境と共に生きる未来を目指します。

例えば…

多摩市気候市民会議では、無作為抽出などで募った市民が集い、自らの生活の中での取り組みや工夫、そのために必要なまちの機能や仕組みを話し合い、さらにこれらを地域社会へどう広げていくかについて議論を交わし、145の具体取組項目を含む「提案書」としてまとめました。この提案書をもとにした取り組みやアイデアを市民の皆さんと一緒に実現していきます。



将来に渡り持続可能なまちであり続けるため、地域でのエネルギーの自給自足を推進します。また、地球温暖化防止に関する教育・啓発活動を地域や学校・事業者などと連携して推進します。



みんながいきいきと幸せに暮らせる



みんなが、それぞれに生きがいを感じ、安全・安心に暮らすことができ、幸せを実感できる未来を目指します。

例えば…

「健幸まちづくり」の取り組みの一環として、「健幸！ワーク宣言」を推進しています。「健幸！ワーク宣言」とは、働く人の健康と幸せのため、企業・団体・大学などの市内事業所の代表者が、自身と従業員・職員の働き方について宣言を行うものであり、この取り組みを進めることで市内事業所とともに働く人の健幸を応援していきます。



加齢・障害・疾病などによる心身機能の低下、子育て・子育て上の困難、生活困窮などに直面した際、適切な支援が受けられるよう、関係機関が、対象者の生活の場面を想定して連携し、切れ目ない支援を一体的に実施する「多摩市版地域包括ケアシステム」を推進します。



まちに元気とにぎわいがある



みんなが、一人ひとりの個性や価値観を大切にしながら、それぞれの方法で、まちに元気とにぎわいを作ることのできる未来を目指します。

例えば…

多世代への呼びかけによるワークショップを開催することで、スキルや興味が同じ人同士が新たな活動を始める機会など、地域で多様な活動をする人・団体が縦横につながる場や機会づくりを推進します。



企業・事業者などとの連携を通じて、駅周辺の活性化やまちの魅力づくりを推進します。また、駅周辺だけでなく、地域にある資源を活用する他、新たな連携による魅力づくりなど、まちの魅力の情報を発信し、実際に訪れていただくことにより、まちの活力を維持していきます。



基本計画を作るときに前提にしたこと

「明るい未来」を実現するためには、変化する社会に対応していく必要があります。今回の計画を作るにあたり、次の5つの社会情勢を前提にしています。

気候変動

DX(デジタル・トランスフォーメーション)

コロナ禍を踏まえた新しい日常、価値観

担い手不足

SDGs